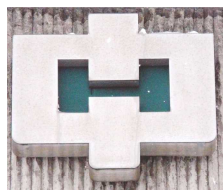


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ  
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成30年12月3日(月) 第15号

著・編 校長 宇治 正明 (TEL 66-2058)

## 自分の人生を切り拓く

早いもので12月。3年生は中学校生活もあと4か月となり、進路選択決定の時期となってきました。2年生も1年後、1年生も2年後には同じ時期がやってきます。あっという間です。

「自分の人生を切り拓く生徒」これは学校目標のひとつです。生徒には中学校3年間で学び、体験することを通して自分の人生について考え、判断し、行動できる力をつけてほしいと願っています。自分の人生の主人公は自分であると言われるように、自分らしい生き方は自分にしか作ることができません。人から意見や助言をもらうことは確かに大切です。しかし、最後は自分自身で生き方を決めていくことになるのです。

私は生き方について、多くの著名人が同じようなことを言っていることに気がきました。いくつか紹介します。

<天野篤さん(心臓外科医)>

「仕事の意義は、世の中のためにどれだけ役に立っているかにある。」

「心の真の平安をもたらすのは、富でも名声でもなく地位でもなく、人のため世のために役立つ何事かを成し遂げたと思える時なのだ。」

<稲盛和夫さん(実業家 京セラ創業者)>

「人間の心がより深い、清らかな至福感に満たされるのは、決してエゴを満たしたときでなく、利他を満たした時である。」

<アンネ・フランク(アンネの日記の著者)>

「幸せな人はだれでも、他の人まで、幸せにするものである。」

<ビクトール・フランクル(オーストリアの心理学者)>

「人に喜ばれる喜びが、生きる意欲につながる。」

いずれにも共通しているのは、自分のことだけを考える生き方ではなく、人のために何ができるかを追求する生き方に価値があると述べていることです。生徒が進路を考えると、「何になりたいか」ではなく、「人のために何をやりたいか」という視点をもてるようにしていきたいと思います。

## 全日本リコーダー教育研究会 佐渡大会

11月22日(木)に上記全国研究大会で2年生が授業公開をしました。お年寄りにリコーダーによる日本の歌を聴いてもらうことを目指し、表現豊かに演奏するにはどうすればよいかという課題を解決する授業でした。4つの班が様々な奏法を効果的に使いながら工夫していく様子は、全国から来た授業参観者に大いにアピールすることができました。12月5日(水)にはケアセンターうしろやまで披露会を行います。頑張れ2年生。



# 授業改善に向けて

当校では、発問、指示、説明に焦点を当て、問題意識を喚起する発問、何をすればよいかを明確にした指示、授業の流れや学習内容の分かりやすい説明、これらが組み込まれた授業改善に取り組んでいます。教員全員が公開授業を行い、参観者との協議や意見交換を通して指導力の向上を図っています。教員と生徒が一緒になって作りあげていく授業がたくさん見られるようになるといいなあと思います。



音楽公開授業のようす



理科公開授業のようす



国語公開授業のようす

## 生徒会役員選挙

次期生徒会役員選挙に向けての取組が選挙管理委員会から出された計画により行われました。11月12日(月)からは立候補者と責任者が中心となり、登校時間に合わせた選挙運動が始まりました。「よろしくお願いします」等の大きな声が朝から響き渡りました。29日(木)には立会演説会が行われ、立候補者は堂々とした態度で主張し、責任者は力強く応援演説をしました。これからの生徒会を後輩に託す3年生からはいくつも質問が出され、立候補者が質問に正対し応答する場面が見られました。畑野小学校6年生も演説会の様子を見に来てくれました。中学生の頑張りを感じてくれたことと思います。30日(金)は投票日でした。新役員はリーダーとして会員と力を合わせて、よりよい学校生活をつくるために何をすればよいかに気づき、考え、実行して行ってほしいと思います。



大きな声で朝の選挙運動



堂々とした態度の立会演説会



いよいよ投票日

## 各種表彰紹介

さど食育川柳コンクール中学生の部  
社会を明るくする運動作文コンテスト  
全佐渡納税貯蓄組合連合会  
体力証授与  
英語検定

入賞	大間	中川			
特別賞	中村				
会長賞	中川				
	生田	河原	長嶋	岩松	藤原
3級	生田	猪股	長田	中川	
4級	平田	城家			
5級	長嶋	林	本間	市川	渡部